

平屋住宅シリーズに 2 タイプ 『たのしみの家』『そだての家』を追加発売 —シニア世代、子育て世代のライフスタイルに対応。平屋タイプの商品を拡充—

2017年1月16日
積水化学工業株式会社

積水化学工業株式会社 住宅カンパニー（プレジデント：関口俊一）は、セキスイハイムの平屋住宅シリーズとして、『たのしみの家』、『そだての家』を、1月21日（土）より全国（沖縄・北海道を除く）で発売します。

当社はこれまで、団塊世代の建替・住替需要に対応するため、2010年に『楽の家』を発売し、平屋住宅市場に本格参入しました。一方、現在、団塊世代を中心とするシニア世代のみならず、子育て世帯を含めた全ての世代に平屋住宅のニーズが広がっていることから、今回新たに2タイプを追加。これにより、子育て世代からシニア世代まで全ての年代の居住ニーズ、ライフスタイルに対応した平屋住宅を充実させます。

セキスイハイムの平屋住宅シリーズ『たのしみの家』『そだての家』のコンセプト

<たのしみの家>

夫婦2人暮らし世帯をターゲットにした「家時間を愉しむ暮らし」を実現する平屋の住まい。

1. おうちカフェを愉しむ

夫婦2人の時間を愉しめる工夫として、“cafenoma[®]”^{*}とコラボレーションし、「おうちカフェ」をご提案します。

2. 趣味を愉しむ

平屋でありながら、1.5階建ての小屋裏スペースを利用するプランをご用意。夫婦二人の時間を大切にしながらも、それぞれの時間や趣味も愉しめる暮らしをご提案します。

3. 自然を愉しむ

セキスイハイムの構造を生かした大開口を設置し、庭との連続性を実現し、自然に親しみやすい住環境をご提案します。

※cafenoma[®]はオトノマ株式会社の登録商標です。

<そだての家>

子育て層をターゲットにした「子どもを豊かに育む暮らし」を実現する平屋の住まい。

1. 家族間のコミュニケーションを育む

セキスイハイムのユニット工法を生かして、部屋と部屋、そして外部空間までつながるプランニングをご提案します。どこにいても家族の気配を感じることができ、家族同士のコミュニケーション促進が図れます。

2. 子どもの感性を育む

吹抜と大開口を設けることで自然の情景を日々感じられ、子どもの好奇心を育み、また、観察力を高めることにもつながります。さらに、平屋のメリットは、屋外との距離が近いこと。庭で野菜を育てたり、ペットと遊ぶなどにより子どもの感性の育成を図れます。

3. 健やかな成長を育む

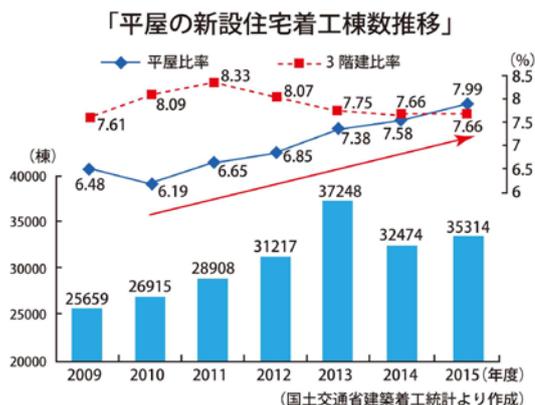
「そだての家」は、セキスイハイム独自の全室空調システム「快適エアリー」を標準搭載しています。これにより、家じゅうの温度差を抑え、1年中快適に保てるほか、キレイな空気環境を実現。暑さ・寒さのストレスを軽減し、健やかな暮らしをご提供します。

『たのしみの家』『そだての家』発売の背景

国土交通省の「建築着工統計」によると、平屋が全着工に占めるシェアは増加する傾向にあり、2015年度は35,314棟（7.99%）で、3階建て（33,867棟、7.66%）を棟数とシェアで上回りました。

一方、当社の平屋住宅契約実績において、2006年度は30代以下の占める割合が17%だったのに対し、2015年度は28%と増加し、若年層のニーズが高まっています。

また、当社の調査研究機関である株式会社住環境研究所（所長：倉片恒治、千代田区神田須田町1-1）による「平屋住宅に関する調査2016」でも、「地方では子育て世代（30-40代）はマンションより平屋住宅を希望し、50代のアクティブシニアと考えられる方々もマンションや2階建てより平屋建てを希望している」様子が明らかになっています。『たのしみの家』『そだての家』はこのような背景から上市するものです。



当社の平屋住宅の特長

平屋住宅では、2階建て以上に比べ、無駄のないプランニングや、外部とのつながり、視線の広がり、演出が重要です。セキスイハイムは、柱や壁の少ない独自のユニット工法のため、プランニングの自由度が高く、品確法の耐震等級3を実現する耐震性を備えながらも大開口を設置でき、外部とのつながりを感じられる空間を実現することができます。また、平屋建ては2階建て以上に比べ、外気の影響を受けやすくなりますが、工場生産による高い気密・断熱性能に加えて、「快適エアリー」を設置することで、住まい全体の温度差が小さい快適な暮らしをご提供します。また、以下の項目についてお客様のご要望に合わせてご提案します。

- ①磁器タイル外壁やステンレス屋根（フラット屋根部分）などメンテナンスを軽減できる素材
- ②玄関収納やリビング内収納などの収納計画
- ③大容量太陽光発電システム、コンサルティング型ホームエネルギーマネジメントシステム「スマートハイム・ナビ」、定置型リチウムイオン蓄電池「e-Pocket（イー・ポケット）」から構成される当社独自のスマートハウス技術によるエネルギー自給自足の暮らし
- ④防犯合わせガラスやリモコンキーシステムによる防犯配慮

『たのしみの家』『そだての家』のコンセプト

<たのしみの家>

夫婦2人暮らしや、子育て期を終えた夫婦（40代後半～60歳）を対象とし、家で過ごす時間の充実に着目したプランをご提案します。

1. おうちカフェを楽しむ

夫婦2人の時間を愉しめる工夫として、「おうちカフェ」をご提案します。「おうちカフェ」提案は「コーヒーのある生活」をインスタグラムで発信するユニット“cafenoma®（カフェノマ）”とのコラボレーション。空間の中に余白をつくり、好きなものを飾れる空間を残しておく、ラウンドテーブルを置くなど、“cafenoma®”の世界観を生かした提案を行います。



2. 趣味を愉しむ

1.5階のスペースを確保できる小屋裏空間「コンファティック」をご提案します。こもり感のある空間・趣味の場ともなり、夫婦2人の時間を大切にしながらも、自分だけの時間を愉しめる空間として、また、寝室やゲストルームとしての活用も可能です。小屋裏空間の一部をバルコニーにすることでより開放感を高めることもできます。



3. 自然を愉しむ

セキスイハイムの頑強な構造躯体により、高い耐震性を維持しながら、連続した大開口が可能。これにより、庭との連続性が感じられ、四季の移ろいを感じたり、朝日により目覚められるなど、より自然に親しみやすい住環境をご提案します。また、内と外が連続してつながる空間は、例えば、LDKからつながるテラスにテーブルを置いてアウトドアリビングとして食事を愉しむことができるなど、日々の暮らしや心身を豊かに過ごす工夫も図れます。



<そだての家>

30～40歳代の子育て世帯を対象とし、子どもの成長や家族コミュニケーション、主婦の使い勝手に配慮したプランをご提案します。

1. 家族間のコミュニケーションを育む

部屋と部屋、屋内と屋外が横に広がるワンフロア設計は、どこにいても家族の気配が分かり、声も通りやすいため、会話が弾み、家族のコミュニケーションの促進が図れます。室内とフラットにつながるデッキでバーベキューなどをして過ごすことで、さらに家族の楽しみも広がります。



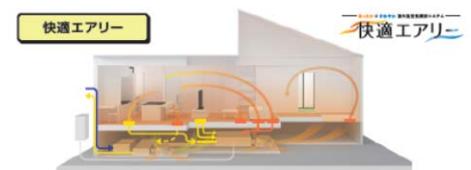
2. 感性を育む

平屋住宅のメリットは、庭など屋外の自然との距離も近いこと。吹抜けと大開口で、太陽や雲、星の動きや四季の移ろいを日々、より身近に感じることができ、日々の暮らしの中で、子どもの規則正しい生活リズムと豊かな感性の育成を図れます。



3. 健やかな成長を育む

近年の子どもたちは、屋内でゲームなどをして外で過ごす時間が減っていると言われます。「そだての家」では、「外遊び」ができる住環境づくりを推奨し、それにより子どもの健康な成長を支援します。また、独自の全室空調システム「快適エアリー」を標準装備。住まい全体の温度を1年中快適に保てるほか、高性能フィルター*によりPM2.5などの有害物質を除去し、いつもキレイな空気環境を実現します。



※PM2.5は粒子径2.5 μm 以下、PM0.5は粒子径0.5 μm 以下の大気中浮遊微粒子を指しますが、試験環境上、0.5 μm 以上の微粒子にて測定を行っております。よって、PM2.5及びPM0.5すべてに有効というわけではありません。家の隙間、衣類への付着、窓・玄関の開閉によって室内へ侵入する花粉、微粒子等は対象となりません。また、花粉症、呼吸器疾患などの治療や改善を目的とするものではありません。

販売目標

年間1,000棟を計画（平屋住宅シリーズ全体）

『たのしみの家』代表外観



『たのしみの家』代表プラン



A
 キッチンがカフェスタイルに。
 庭を眺めて始まる1日。
 庭に面した広めのアイランドキッチンの前
 にミニテーブルを置き、カフェスペースに。

C
 コレクションやアルバムを飾って
 自分だけのギャラリーに。
 壁一面に「見せる収納」。収納という機能
 と飾る楽しさの両方を持つ空間に。

E
 夜の庭にキャンドルを灯せば
 プライベートなバーに変身。
 バルコニーとキッチンの距離が近いと、お料理
 を運んだり片付けたりする手間も減らせます。

B
 カフェ空間の一角をタミコーナーに。
 和菓子とお抹茶の気分の時はここで。
 洗濯物を畳むときや、お友達が子連れで
 遊びに来たときにも、幅広く重宝します。

D
 寝室に大きな窓を設けて、
 冬も夏も心地よく目覚める。
 高い断熱性と快適エアリーによる空調管
 理で、窓からの冷えや暑さをやわらげます。

*cafenoma®は、上記間取りのプランニング、コーディネートは行っておりません。

(1階面積:86.91㎡ 小屋裏面積:37.50㎡ 延床面積:124.41㎡)

『たのしみの家』販売価格(上記のプラン例における)：3.3㎡あたり67万円から(消費税別途)

- *販売価格には、建物本体材料費、工事費の価格が含まれます。
- 旧家屋解体工事、屋外給排水工事、屋外電気工事、外構造園工事費等の費用は別途となります。
- 地域により価格が異なる場合があります。
- *小屋裏面積を含め、坪単価を算出しております。

『そだての家』代表外観



『そだての家』代表プラン



(延床面積: 111.83 m²)

1 家族が楽しむ、屋外空間



休日にはテラスでランチやBBQを楽しんだり、ハーブなどの家庭菜園として使ったり、昆虫観察をしたり……。家族みんなで“外遊びの団らん”を楽しむ空間が、子どもの好奇心や家族の絆を育てます。

2 室内の“一体感”を大切に



各部屋を独立させず緩やかにつなぎ、互いの気配が伝わるように。玄関から子ども部屋へはダイニングを経由するので、家事をしながらでも外から帰ってきた子どもの様子がわかり、親子の安心感を生みます。

3 自然の変化をインテリアに



刻々と表情を変える、窓から差し込む太陽の光、おもしろいかたちの雲、色彩豊かな木や花、空に浮かぶ月や星。それらを室内に取り込む工夫により、子どもの感性が刺激され、豊かな成長につながります。

4 安心+快適=健康的



フラットな平層では階段での転倒などの心配もなく、安心。快適な温度ときれいな空気で、家全体がまるで小春日和の平原のよう！元氣いっぱい走り回れる空間は、子どもの心身を育む「遊び場」です。

『そだての家』 販売価格(上記のプラン例における)： 3.3 m²あたり 75 万円から (消費税別途)

* 販売価格には、建物本体材料費、工事費、オリジナル全室空調システム(快適エアリー)の価格が含まれます。旧家屋解体工事、屋外給排水工事、屋外電気工事、外構造園工事費等の費用は別途となります。

地域により価格が異なる場合があります。